

専門科目 保健政策・医療管理学

(専門職学位課程)

科目名	国際母子保健学	code number : HPM-GH 241	選択	1 単位
-----	---------	-----------------------------	----	------

科目責任者	高橋 謙造 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	前期(後半)	曜日・時限	火曜 5時限	授業方法	講義

1. 授業の概要

- ・母子保健分野の課題を理解するための視座を獲得し、数多い政策課題を理解できる能力を身につける。
- ・そのための視点、ツールを習得する。

2. 授業の到達目標

【一般目標 (GIO)】

1. 母子保健に関する課題を、先進国、途上国にかぎらず俯瞰して、世界的な母子保健政策に関する知見を備えた実務家となることを目標とする。適宜、COVID-19の母子感染への影響の情報も加味する。

【行動目標 (SBO)】

1. 先進国、途上国の母子保健医療政策の現状・課題を把握し、制度や課題について説明出来る。
2. 国際的な視点から、政策を相対化し、評価出来る。
3. 実務に従事する際に、学びを活かすことが出来る。

3. 成績評価の方法および基準

- ・プレゼンテーション資料(70%)、講義における議論の参加度(30%)で総合評価する。
- ・毎回の講義の担当者を決定し、資料を配布するので、その内容に関してプレゼンテーションできる準備をして臨むこと。発表されたプレゼンテーション資料が評価の対象となる。授業前日12時までに提出のこと。
- ・ただし、無断欠席に関しては、減点の対象となる。
- ・提出遅れの場合には、原則として減点の対象とする。
- ・オンライン講義において、講義画面にログオンしたまま不在参加の疑いがある場合には、2回確認の上、返信がない場合には、原則として減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

- ・特に指定しない

5. 参考書

講義前にLMSに参考文献を掲載するので、熟読して参加すること。

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・本コースでは、受講生の間での討論を重視するので、指示された資料・参考書・文献は、担当者以外も事前に熟読しておくこと。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

国際母子保健学

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	6/15(火)	5	高橋 謙造 教授	子どもの権利条約、COVID-19と母子保健課題、日本と世界における母子保健政策のOverview
2	6/22(火)	5	高橋 謙造 教授	Reproductive Health (世界的課題と戦略、日本における取り組み)
3	7/13(火)	5	高橋 謙造 教授	Maternal Health (世界的課題と戦略、日本における取り組み)
4	7/20(火)	5	高橋 謙造 教授	Newborn Health (世界的課題と戦略、日本における取り組み)
5	7/27(火)	5	高橋 謙造 教授	Child Health –感染症および栄養、Early Childhood Development– (世界的課題と戦略、日本における取り組み)
6	8/3(火)	5	高橋 謙造 教授	Adolescent Health (世界的課題と戦略、日本における取り組み)
7	8/10(火)	5	高橋 謙造 教授	Continuum of Careについて考える (母子健康手帳が担保するサービス)
8	8/17(火)	5	高橋 謙造 教授	災害対応とChild Protection